

# 採血に伴う合併症

聖母病院



採血は、基本的には安全な手技であるとされておりますが、ごく稀に、以下のような合併症を生じるとの報告があります。

## 止血困難・皮下出血

不十分な止血操作などが原因です。十分な圧迫止血をしていただきますようお願いいたします。

## アレルギー

消毒薬でかゆみ、発疹をはじめとするアレルギー症状が出現することがあります。

## 神経損傷

採血後も手指に痛みが残ったり、しびれが持続したりします。約1万～10万回に1回の頻度で起こるとされており、多くは1週間以内に、大部分は3か月以内に改善します。

## 血管迷走神経反射

神経が興奮し急激に血圧が下がるため、めまいや気分不快感、意識消失などを引き起こします。心理的緊張や不安が強いと起こりやすいとされ、採血前に起こることもあります。

合併症が起きた場合は最善の処置を行います。  
なお、その際の医療は通常保険診療となります。